

1 定積分の定義

関数 $f(x)$ が区間 $[a, b]$ ($[a, b]$ は $a \leq x \leq b$ を表す) で連続であるとする. $[a, b]$ を n 等分し, 分点を

$$a = x_0, x_1, x_2, \dots, x_{n-1}, x_n = b$$

とする. このとき, 定積分 $\int_a^b f(x)dx$ を極限值

$$\int_a^b f(x)dx = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n f(x_k) \Delta x$$

で定義する. ただし, $\Delta x = \frac{b-a}{n}$ である.

- $\sum_{k=1}^n f(x_k) \Delta x$ は, $f(x_k) \Delta x$ の k を 1 から n まで変化させて足しあわせたもの, すなわち

$$f(x_1) \Delta x + f(x_2) \Delta x + \dots + f(x_{n-1}) \Delta x + f(x_n) \Delta x$$

のこと. この式で, n を限りなく大きくしたときの極限值

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n f(x_k) \Delta x = \lim_{n \rightarrow \infty} (f(x_1) \Delta x + f(x_2) \Delta x + \dots + f(x_{n-1}) \Delta x + f(x_n) \Delta x)$$

が定積分 $\int_a^b f(x)dx$ である. [∞ は無限大を表す記号]

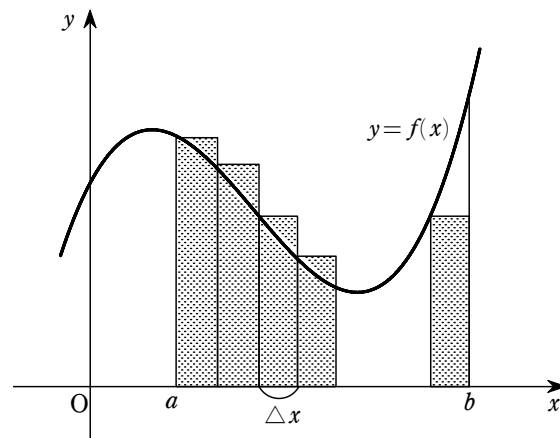
< \sum を使った和の表し方の例 >

$$\sum_{k=1}^5 k = 1 + 2 + 3 + 4 + 5 = 15, \quad \sum_{t=1}^n (t^2 - 3t) = (1 - 3) + (4 - 6) + (9 - 9) + \dots + (n^2 - 3n),$$

$$\sum_{i=1}^4 a_i b_i = a_1 b_1 + a_2 b_2 + a_3 b_3 + a_4 b_4.$$

- 関数 $y = f(x)$ が区間 $[a, b]$ でつねに $f(x) \geq 0$ であれば, $\int_a^b f(x)dx$ は, 区間 $[a, b]$ において曲線 $y = f(x)$ と x 軸に挟まれた図形の面積に等しい.

- $\int_a^b f(x)dx$ は, 「 a から b までのインテグラル $f(x)dx$ 」などとよむ.
 $\int_a^b f(x)dx$ は $\int_a^b f(t)dt$ などとかいてもよい. 定積分の値は積分変数の文字に依らない.



【練習問題】

- (1) 定積分の定義にしたがって, $\int_0^1 x^2 dx$ の値を求めよ. [$\sum_{k=1}^n k^2 = \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1)$ を使う]

- (2) 区間 $[0, 1]$ において, 曲線 $y = x^3$ と x 軸に挟まれた部分の面積を定積分で表し, その値を求めよ.
 [$\sum_{k=1}^n k^3 = \frac{1}{4}n^2(n+1)^2$ を使う]

- (3) 次の定積分の符号をいえ.

(i) $\int_1^2 x^2 dx$

(ii) $\int_{-1}^1 (t^2 - 4) dt$

(iii) $\int_{-2}^5 u du$

- (4) 次の定積分の値を求めよ.

(i) $\int_1^3 (x+1) dx$

(ii) $\int_0^3 (3-x) dx$

(iii) $\int_0^5 (x-2) dx$